

(学校番号255) 令和4年度版「学力向上ポータルフォリオ(学校版)」【柏陽中学校】

4月28日		
目標・策		
知識・技能	令和3年度全国学力学習状況調査、令和元年度さいたま市学力状況調査の自校結果より、国語・数学の「知識・技能」において、3pt向上させる。	⇒ ・毎回、漢字練習をして漢字の反復・習熟を行う。 ・ドリルパークやスタディサプリを活用して、学習履歴を確認し、解き直し等の補習を行う。
思考・判断・表現	令和3年度全国学力学習状況調査、令和元年度さいたま市学力状況調査の自校結果より、国語・数学の「思考・判断・表現」において、3pt向上させる。	⇒ ・根拠を明確にして自分の考えを導き出し、他者に伝える場を設定する。 ・他者の考え方を考察して、互いに考え方を深めていく場を設定する。
主体的に学習に取り組む態度	令和4年度全国学力学習状況調査【学習に関する関心・意欲・態度】における「国語の勉強は好きですか」「数学の勉強は好きですか」の肯定的な回答の割合を令和3年度の自校の値より3pt向上させる。	⇒ ・さいたま市「アクティブ・ラーニング」型授業における「協働」を重点とした、学習活動を行う。 ・部活動のない放課後の時間を活用して、学習への意欲・理解・習熟を深めることを目的とした学習会を実施する。

9月2日			
中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)			
知識・技能	変更なし	⇒	変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒	変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒	変更なし

8月29日	
全国学力・学習状況調査結果・分析	
<p>令和4年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果と比較し、国語-6pt、数学-2ptであった。国語では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」に課題があり、全国平均を下回った。解答類型を見てみると、表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択することができていなかった。数学では、一次関数の変化の割合の意味を理解し、一次関数の関係を表した表を選ぶ問題の正答率が低かった。</p> <p>令和4年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果と比較し、国語-1pt、数学0ptであった。国語では、「話すこと・聞くこと」に課題があり、全国平均を下回った。解答類型を見てみると、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すことができなかった。数学では、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する問題の正答率が低かった。</p> <p>令和4年度全国・学力学習状況調査の【学習に関する関心・意欲・態度】における「国語の勉強は好きですか」「数学の勉強は好きですか」の質問項目で、肯定的な回答の割合をR3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果と比較し、国語+1pt、数学-15ptであった。「数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」の質問項目では、肯定的な回答の割合が32%となった。日常生活と関連付けた課題を通して、数学への興味関心をもち主体的な学びとなるよう授業改善に努める。</p>	

2月〇〇日	
さいたま市学習状況調査結果・分析	
中1	
中2	
中3	

2月〇〇日	
成果指標に対する達成状況	評価(※)
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

3月〇〇日	
次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

※評価
 A 8割以上(達成) C 4割以上(あと一歩)
 B 6割以上(概ね達成) D 4割未満(不十分)